

秋山の森



2009年3月の様子



2009年 夏から整備活動を実施



諸事情により 国道 464 号線沿いのケヤキを 14 本伐倒





シオカラトンボ



コノシメトンボ



クワガタ 雌



タマムシ



カブトムシの幼虫



ミンミンゼミ

秋山の森 いろいろ



オナガの巣



カブトムシの繁殖箱の設置



孟宗竹の繁茂力はすごく 間伐のためのタケノコよりも楽しみ

チェーンソー・アートクラブ

毎月 / 第1水曜日・第3月曜日
10時～13時に活動しています
竹材クラフトもやっています



Save The Green @ Akiyama

毎月第2土曜日 / 10時～13時にイベントを開催（時間の変更もあり・8月はお休み）



秋山の森 取材記事

2010年7月

ひと

千葉・松戸市で里山を守ろうと活動するボランティア

高木 喜久雄さん(63)

日に焼けた顔。安全帽に作業服、地下足袋姿で市街地に残る民有林に入り、茂る雑草や竹と格闘中です。

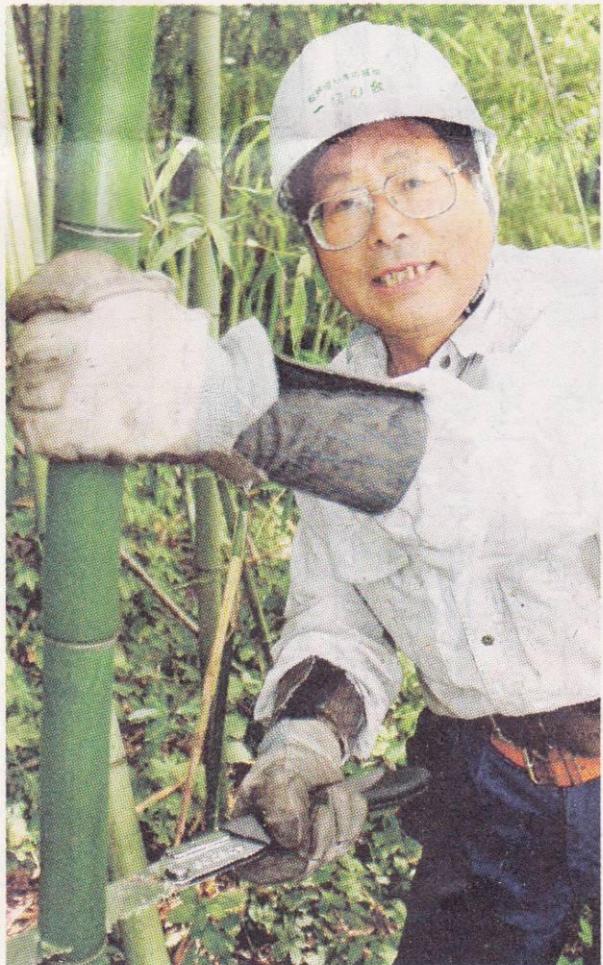
「手入れされた森は足を踏み入れるだけで気持ちいいもの。荒れてしまった里山を市民の憩いの場として再生したいなあってね」

松戸市が2003年から続いている「里やまボランティア入門講座」の卒業生

森をそのまま子孫に残したい」という地主さんの思い

表を務めます。

「『祖先から受け継いだ森をそのまま子孫に残したい』という地主さんの思い



に応えようと集まった仲間は、きずなが強いんです。汗をかくのも楽しい」。活動後の交流が活力の源です。

本業は植木屋さん。50歳で電器メーカーをリストラされてから、訓練校に通つて園芸技術を身につけ、開業した異色の人。会のメンバーに、樹木の性質から道具の使い方まで、林をよみがえらせるためのワザを実地で伝授します。研究熱心で気さく。仲間からは「師匠」と頼りにされています。

間伐した森に近くの保育園の園児を招いた「お楽しみ体験」、シイタケ栽培や植林、竹林の手入れと、ボランティア優先で市内の里山を渡り歩く毎日です。

「里山の活動が忙しくて、自分の家の庭木の手入れをするヒマがないのが悩みです」。破顔一笑。

文・写真 秋山強志